



9月 保育室 すまいるだより

2019.9.2

保育室 すまいる

<月のテーマ：気づく>

年齢別 月の保育のねらい

<1歳児>

- 行動範囲が広がり、探索をする。
- 保育者や友だちと一緒に、全身を使った遊びを楽しむ。

<2歳児>

- いろいろな遊びや活動を通して友だちとの関りを深め、一緒に楽しむ喜びを味わう。
- 素材の違いに興味を持ち、製作を楽しむ。

<3歳児>

- ルールのある運動遊びをたのしむ。
- 友だちとの関りが増え、気の合った友だち同士の会話を楽しむ。

<4歳児>

- ルールや約束を守りながら、友だちと一緒に協力したり相談したりして遊ぶ。
- 身近な自然に触れ、秋への季節の変化を感じる。

<5歳児>

- 空、星、虫などの自然の変化に興味をもち、友だちや保育者と思いを通わせながら関心を深める。
- 共通の目的をもち取り組む中で、自分の力を十分に発揮し、達成感や充実感を感じる。

<学童>

- 友だちと共通の目的をもち取り組む中で、人とのつながりを深めるとともに相手を思いやる気持ちを持つ。

<9月の歌>

あの空は
どうして青い



<わんぱくだんからの手紙>

わんぱくだんの絵本のシリーズ『なつまつり』を読み終わったあとのことでした。

わんぱくだんの絵本にでてくるけん、ひろし、くみ 3人合わせてわんぱくだんのメンバーから、お手紙が届いたのです。そのお手紙には、『いつもわんぱくだんのえほんをよんでくれてありがとう』と書いてありました。

お手紙をもらってすぐは、「こんなのうそだー」といって手紙の存在を半信半疑だった Y さんと K ちゃんでした。

手紙を見て「きったない字」「きたなくて、よめない」と文句を言いながら読み進めていました。

「プレゼントだって」プレゼントをあげると書かれていて、テンションが上がり、どんなプレゼントなのか楽しみにし始めました。

二回目の手紙が来ると「やったー！また、わんぱくだんからてがみがきたよ！！」と嬉しそう。

『わんぱくだんのはしれ！いちばんぼし』を読んだ後でした。わんぱくだんは機関車にのって空の散歩に行ったけど、Y さんや K ちゃんは、ゴンドラに乗って空中散歩にしてみない？と空の空中散歩のチケットがプレゼントでした。早速、Y さん、「場所が書いてないからどこでするかわかんない」

さすが、よく見てました。3回目のお手紙には、場所とその地図が同封されていました。

「ひつじややぎがいるハートランドだって」「ブルーベリー食べたところの近くだって」とだんだんイメージがはっきりしてきました。わくわく、でもドキドキかもしれません。

お泊り保育は年長児を中心に行います。年長児だけでは、パワー不足なので、広く参加メンバーを呼びかけます。今年は、わんぱくだんの絵本を元にイメージを膨らませ、みんなで行きたいと思っています。学童のお友だちや先生も誘ってきてくださいと 3 回目のお手紙に書いてありました。少しずつ、イメージを深めて準備を進めていきたいと思っています。どのようなお泊り保育になるか楽しみです。子どもたちの口からお手紙の内容や空中散歩の話が出てくるまで、内緒にしてくださいね。お手紙のやり取りはまだ続きます。おたのしみに！！